

# 平成 30(2018)年度 江井島中学校 学校経営方針

## 校訓 自主・協同・創造

### めざす生徒像

- ・豊かな心を持ち、自他を尊重する生徒
- ・自ら進んで、知力・体力を磨き、真理を探究する生徒
- ・心身ともに、たくましく健康な生徒

## 教育目標

### 「夢や目標を持ち、誇りをもてる学校」

～主体的・対話的で深い学びを実社会で活用できる生徒の育成～

## 重点課題

### 学力向上

- ・基礎的・基本的な知識・技能の習得
- ・思考力・判断力・表現力の育成
- ・学習意欲の向上や学習習慣の確立
- ・授業力向上に向けた研修の推進

### 心の育成

- ・「心に響く」、「心を動かす」指導の推進
- ・命と人権を大切にされた教育の推進
- ・規範意識を高める指導の推進
- ・基本的生活習慣の確立と自律した生徒の育成

### 開かれた学校

- ・各種通信、ホームページ等での学校からの情報発信
- ・保護者との連携
- ・地域との連携

## 江井島中学校の5つのこだわり

- ① 元気なあいさつ
- ② ていねいな掃除
- ③ 落ち着いた授業
- ④ 守り抜くルール
- ⑤ 支え合う仲間

## 今年度の主な取り組み

### 1 教科指導の充実 ～わかる授業の創造～

- ・生徒の現状、課題を的確に把握し、より適切で効果的な指導を実践する。
- ・できる喜び、達成感を味わわせるとともに、自ら学ぶ態度を育てる。
- ・授業規律を確立する。
- ・各教科の基礎的、基本的内容の確実な定着を図る。
- ・少人数授業や個に応じた指導等、授業形態を工夫し、言語活動の充実、能力の育成に努める。
- ・客観性、信頼性の高い適切な評価・評定をする。

### ☆週時程表の検証(授業時数の確保は進んだのか)

### 2 生徒指導の徹底 ～秩序ある学校生活の確立～

- ・「5つのこだわり」の取り組みをとおして、問題行動の未然防止に全教職員が全力で取り組む。(報・連・相を徹底し、組織で動く)
- ・1小1中という環境で育った生徒の特性を把握し、他者との関係の中で、心の触れあいの充実を図り、担任はもちろん、養護教諭、SC、生徒指導相談員との連携を深め、個々の生徒理解と家庭理解に努める。
- ・問題行動の未然防止や事後対応等については、家庭・地域(補導委員会等)、小学校、関係機関等と日常的な連携に努める。
- ・不登校予防のため、「ストップ不登校あかし」の活用を図る。
- ・保護者との連絡・連携に努める。
- ・「校内適応教室(ひまわり学級)」の取組を推進し、工夫・改善を加えながら、原級復帰に努める。
- ・問題行動、反社会的行為には、関係機関との連携のもと、毅然とした対応をとる。

### 3 道徳教育の充実 ～豊かな人間性の育成～

- ・道徳教育推進教師を中心とした指導体制を充実させる。
- ・生徒の実態を考慮した全体計画や年間指導計画を作成し、道徳性の育成を図る。
- ・教育活動全体を通じて、生命尊重の精神や人としての生き方を高める指導に努める。
- ・「私たちの道徳」、「兵庫県版道徳教育副読本」など魅力的な資料、有効な資料の開発や活用の仕方について研究する。
- ・生徒の自尊感情を育てるとともに、他者への共感的態度を育てる。
- ・教師として自らの人権感覚を磨き、人間性を高める。

#### 4 特別活動の充実 ～自主的・実践的な態度の育成～

- ・心の触れあえる学級経営に努め、生徒の自浄能力の育成を図る。
- ・「スキー実習」「トライやる・ウィーク」「修学旅行」等豊かな体験学習をとおして、多様なものの見方を身につけ、自己・他者理解を深める。
- ・学級・学年・生徒会活動などの望ましい集団活動を通して学校生活の充実と向上を図る。
- ・主体的な活動の場や実践を通し、成就感や達成感を味わわせる。

#### 5 キャリア教育・進路指導の充実 ～勤労・職業観の育成と自己実現～

- ・豊かな体験学習を通じて、自己、他者理解を深める。
- ・キャリアノートの有効活用を図る。
- ・自己実現をめざし、望ましい勤労観・職業観を育成し、生徒自ら選択・決定できるよう支援する。
- ・自己理解を深める指導とあわせて、目的意識を持たせる。
- ・進路情報等の適切な提供と、年間計画に基づいた指導の充実を図る。(通信・集会等)

#### 6 特別支援教育の推進 ～自立への支援と生きる力の育成～

- ・適切な個別の指導計画、教育支援計画を作成し、学習指導の充実、適正な就学指導を図る。
- ・校内委員会やコーディネーターを中心に、推進状況の啓発や改善に努め、全教職員による支援体制を一層充実させる。
- ・通級指導教室の活用により、安定した学校生活や集団活動が行えるように支援する。

#### 7 総合的な学習の時間 ～よりよく問題を解決する資質や能力の育成～

- ・総合的な学習の時間のねらいを再確認し、横断的・総合的な課題などの視点に沿った探求型の取組を進める。
- ・小学校からの連続性を考慮し、学年の系統性や教科学習の関連を図った全体計画や年間計画を立て実践する。(幼中・小中の連携)

#### 8 健康・安全・防災教育の推進 ～規則正しい生活習慣の確立と安全指導の徹底～

- ・自分の健康を管理する能力を養うとともに、薬物乱用防止等への意識を育てる。
- ・生き方を学ぶ性教育を計画的に推進する。
- ・食育の推進を図る。
- ・「安全管理マニュアル」のもと、日常の安全指導の徹底を図る。
- ・「想定外」を意識することで防災への意識付けを行い、危機管理意識を育てる。
- ・不審者への対策や、救急措置法、心肺蘇生法の習得など、防災安全管理に努める。

#### 9 教育環境の整備 ～心やすらく環境づくり～

- ・清掃の行き届いた清潔感のある学校づくりに努める。
- ・掲示物・花や植木等にも心を配り、心を豊かにする環境にする。
- ・生徒会の古紙・アルミ缶回収活動や地域の自然環境等を題材に、横断的・総合的に取組を推進する。

#### 10 家庭・地域との連携 ～開かれた学校づくりの推進～

- ・家庭・地域に一層信頼される学校づくりの推進を図るとともに、双方向の連携のもと、指導体制の充実を図る。
- ・校区 UNIT 会議を推進し、保・幼・小・中の効果的な連携を図る。
- ・各種通信、学校HP等を有効活用し、積極的に学校から情報発信し、家庭や地域の理解や信頼を得るように努める。

#### 11 教職員の資質の向上 ～研修の充実と意識改革～

- ・定期的な研究授業や、日常的な授業参観を実施し、授業力向上に向けてお互いに切磋琢磨する。
- ・若手教師の授業力・指導力向上の研修を進める。
- ・全教職員間の情報の共有と共通理解に努める。
- ・自主的・主体的に教育研究に取り組む。
- ・社会の変化に対応した教育観を培い、意識改革を図る。

#### 12 給食実施から見える課題の把握と改善 ～よりよい給食の実施と食育～

- ・給食委員会、アレルギー対策委員会の円滑な運営。
- ・生徒、保護者、地域向けの広報（給食だよりやHP）をすることで給食の意義、食育についての啓発を行う。
- ・校時表の検証。
- ・ヒヤリハットの作成。